

## 川島小学校統廃合に関わる経過(概要)

令和5年8月25日

辰野町・辰野町教育委員会

年月日	会議・懇談等	内 容
昭和20年代には400名を超えていた児童数が、25年から減少に転じ30年代半ば以降減少の急激に減少。48年に100名を、平成15年に50名を切った。並行して大人数の中で学ばせたいとする保護者が出始め、区外や町外に出る家庭があり、減少に拍車を掛けた。		
H19.3.31	川島児童館(保育園)閉園	S41年開園、500余名の川島区の子供が利用したが、年々園児数が減少した結果の閉園であった。
さらに小学校入学直前になると、川島区から外に移住する家庭が毎年出るようになる。		
H24.10.16	「通学区特認校制度導入」地元説明会	H25年度より、町内のどこからでも川島小学校に通学することができる「通学区特認校制度」の導入決定を川島区に説明。
H26.10.1	宮澤現教育長就任	翌27年4月の町議会選挙で川島小統合を主張する議員が当選。以来町議会一般質問において毎回統合の質問がなされる。
児童数が15名を切り、入学児童がいない年も出始める予測がなされる一方、川島区への移住事例が出始める。		
H28.1.23	未就学児童の保護者との懇談会	川島区内の13家庭が参加。12家庭は我が子を川島小に入れないと回答、移住してきた1家庭のみ川島小に入学させたいと回答。
全校児童数は毎年10名前後で推移していく(移住者の子供や特認校制度で外から来る児童もいるが、入学時に区外に通学する児童もいて児童数増加にはならない)		
H28.1.25	H27 第3回 辰野町総合教育会議	今後の辰野町を展望した時、「辰野町における学校の適正規模・適正配置が必要」と結論、これに関わる審議会の設置が決定される。
H28.7.4	辰野町立小・中学校あり方検討委員会発足	児童の学びの環境から学校の規模を検討する委員会、町内各種団体、有識者等20名の委員により構成。
H29.9.26	辰野町立小・中学校あり方検討委員会が提言を出し、検討委員会は終結	10回のあり方検討委員会での協議を経て「1学級10名」とする提言を町教育委員会に提言
H29.11.13	加島前町長から武居新町長に町政のバトンが渡される。	
H29.11.27	武居新町長に町の教育課題について説明	新町長に武居副町長が就任、川島小の状況・町教育行政について説明。

H30.2.21	町教育委員会	提言「1学級10名」を受け、町教育委員会として「川島小学区は統合の対象として準備を進める必要がある」との見解をまとめる。
H30.3.26	H29 第2回 辰野町総合教育会議	武居町長、あり方検討委員会提言及び教育委員会見解を尊重しながらも「存続を前提に3年間のチャレンジ」を表明。
川島小学校の統廃合についての協議はいったん棚上げ、町は川島区と共に移住定住施策により児童数増を目指す3年間が始まる。教育委員会は、川島小学校で学ぶ児童の教育環境維持の施策を他校と共に進める。		
R2.12.4	「川島区長・川島小学校存続会議」より町長へ要望書提出	「川島小学校の存続と移住者の住居確保のための施策の推進」を要望される。
〃	「川島小学校保護者会」より町長へ要望書提出	「川島小学校存続に関する要望書」が提出される。
R3.1.25	R2 第2回 辰野町総合教育会議	町長試案「町内全小学校のキャンパス化」による川島小の存続を表明。
R3.4.16	「ど真ん中の町の学校をみんなで考えよう実行委員会」より要望書提出	川島小の問題や町の将来像についての考えを町民に知らせる場を作っていただきたい、幅広く町民の意見を交流できる場を作っていただきたい。
R3.4.30	R3 第1回 辰野町総合教育会議	町長試案「キャンパス化構想」撤回を表明。 検討委員会提言及び教育委員会見解に沿って統廃合を進めると表明。
R3.6.23	川島小学校保護者との懇談会	川島小に寄せる保護者の思い、地元の思い等を受け、教育委員会の考えを伝え、ご意見を頂く。
R3.7.2	川島区内各耕地ごとの説明会 (町長・教育長の説明と懇談)  町・教育委員会側の出席者： 町長・副町長・教育長 ・総務課長 ・教育委員会事務局	川上生活改善センター
R3.7.6		門前生活改善センター
R3.7.7		一ノ瀬介護予防センター
R3.7.8		下横川営農総合センター
R3.7.15		下飯沼沢介護予防センター
R3.7.16		渡戸介護予防センター
R3.7.21	川島小学校保護者との懇談会	川島小に寄せる保護者の思い等を受け、教育委員会の考えを伝え、ご意見を頂く。
R3.8.4	臨時町教育委員会(町長との懇談会)	地元説明会を受けて、町長が改めて「あり方検討委員会の提言に沿って隣接校との統合を検討すべき」との見解を示す。

R3.8.27	「川島小学校の存続を望む会」より町長及び教育長へ要望書の提出	住民署名を添えて「川島小学校の存続を求めます」の要望。
R3.9.29	川島小学校保護者との懇談会	川島小に寄せる保護者の思い、地元の思い等を受け、教育委員会の考えを伝え、ご意見を頂く。
R3.10.14	「川島小学校児童・未就学児保護者(有志)」より町長及び教育長へ要望書の提出	「川島小学校の存続」等の要望。
R4.2.21	川島区内の辰野西小学校保護者との懇談会	川島区に住所を置いたまま、辰野西小学校に子供を通わせている保護者との懇談。
R4.5.10	川島小学校保護者との懇談会	経過説明と今後の教育行政について説明し懇談。
R4.5.23	R4 第1回 辰野町総合教育会議	川島小統合に向けた在籍児童への配慮事項を中心に協議し、統合についての議案を年度内に町議会に上程したい。町長はその後、町議会6月定例会において今年度中に統合についての議案を町議会に上程することを表明。
R4.7.19	川島小学校統廃合に関する地元懇談会	町長・副町長。教育長他、教育委員会事務局職員で、統廃合、配慮事項について説明、意見交換を行う。
R4.8.17	川島小学校統廃合に関する歴代区長との懇談会	今後の進め方について、歴代区長よりご意見を頂く。
R4.11.2	町議会全員協議会にて川島小学区統廃合実施方針説明	川島小統廃合実施方針(案)とパブリックコメント実施、辰野町の教育ビジョンについて説明。
R4.11.14	R4 第2回 辰野町総合教育会議	川島小統合に向けた内容の確認、町教育ビジョン・町教育行政についての協議・懇談。
R4.12.15	辰野町議会12月定例会 最終日採決にて統廃合が決定される	賛成10、反対3で「川島小学校設置条例の廃止・川島小は辰野西小に統合」が決定。
R5.5.18	川島小学校の保護者との懇談会	川島小が令和7年3月末統合されることを受け、その間の児童・教職員の交流、統合後の在籍児童への配慮事項等について懇談。
R5.8.25	R5 第1回 辰野町総合教育会議	

#### 今年度の取り組み

- ・川島小学校と辰野西小学校の児童・教職員の交流活動・学習の推進(西小児童・教職員も川島小に出向く・相互授業)
- ・新たな学びの場「学び・適応支援教室(たつのご学舎)」の解説・整備(不登校になり気味の児童・生徒支援体制の確立)
- ・今後10年ほど先まで見据えた辰野町の教育ビジョンの作成を行う。
- ・川島小学校保護者との懇談を行い、統合後の配慮事項について確認 及び 児童との懇談